



オリーブ (モクセイ科) チプレッシノ

オリーブは表は緑色、裏は銀白色を帯びている葉と5～6月になると白色の花が咲き、10月～11月頃に緑色から黒紫色になるオリーブの実が特徴です。見た目も南欧風の明るいイメージです。

オリーブの木は自家受粉がしにくいので、一本だと実が成りづらいようです。ブルーベリー同様、別品種を複数本植えると実が付きやすくなります。

☆☆育て方☆☆

★置き場所・植付け方

オリーブは日光を好みますので、日当たりの良い場所が最適です。また、乾燥に強いので、やせた土地でも育成します。冬の寒さにさらされて花芽をつくる樹木なのですが、霜や凍結に非常に弱いので、寒くても凍らせないように注意が必要です。植付けは3月～4月、9月～10月が適しています。倒れないように支柱をしっかり立てることが必要です。

★土壌・肥料

植付けは、水はけの良い場所を選び、油かすを根元に与えます。アルカリ性を好むので、植える7日～10日前に土壌に石灰を混ぜ込んで植えると良いです。鉢植えの場合は、赤玉土：腐葉土を6：4の割合で混ぜた土に石灰を混ぜると良いです。

★手入れ

剪定は休眠期の1月～2月頃が最適です。伸びすぎた枝や細くて弱そうな枝を根元から切ります。また、混み合っている枝も透かすように切り、風通しを良くし、樹の内まで日が当たるようにします。注意として、本年伸びた枝に翌年花をつけるので、残す枝と切る枝の判断が必要です。雨が少なく、温暖で乾燥されている場所が好ましいとされていますが、水やりの多い方が成長が早い様です。土の表面が乾いたらたっぷりと与えるようにして、いつも土が湿っている事は避けてください。特に冬季は、少し乾かしぎみにすると、耐寒性が強くなります。

★害虫

オリーブアナアキゾウムシが発生します。幹の内部を食い荒らす害虫で、カミキリムシ等同様、幹の根元におがくずがたまっていたら、ゾウムシがいる可能性が高いです。殺虫剤などを散布し予防してください。薬剤・・・スミチオン乳剤

★鉢植え

鉢底に赤玉土やビーナスライトなど水はけの良いものを敷きつめます。地植えより土が乾きやすいので、こまめな水やり等、管理が必要です。樹木の生長とともに鉢の大きさを替えてやり、肥料は化成肥料やハイポネックスなどの液肥を与えます。